

類似都市等の情報・比較(原単位、理念等、目標値)

項目	明石市	兵庫県 宝塚市	兵庫県 加古川市	兵庫県 神戸市	
都市の指定	特例市	施行時特例市	施行時特例市	政令指定都市	
都市の区分	—	類似都市・近隣市		近隣市	
総人口(R1、外国人含む)	303,660人	234,045人	264,508人	1,533,166人	
1人1日当たりのごみ排出量(R1)	924g	918g	843g	961g	
生活系	620g	629g	577g	608g	
事業系	304g	289g	266g	353g	
リサイクル率R'(R)	9.5%(9.9%)	29.3%	18.4%(23.0%)	13.0%(13.1%)	
策定年月	平成28(2016)年5月	平成30(2018)年3月	平成30(2018)年3月	平成28(2016)年3月	
計画目標年度	令和7(2025)年度	令和9(2027)年度	令和4(2022)年度	令和7(2025)年度	
中間目標年度	令和2(2020)年度	令和4(2022)年度	—	令和2(2020)年度	
基本理念	環境への負荷が小さく持続可能な循環型のまち・あかし	「環境への負荷が少ない循環型社会の構築」 ～ごみと資源 分けて広がる エコ社会～	人と自然が調和し ものが循環するまち 加古川 ～持続可能な社会の実現に向けて 市民・事業者・行政 協働によるまちづくり～	次世代へつなげる循環型都市“こうべ”	
一般廃棄物処理基本計画	基本方針				
	1	ごみの発生抑制を最優先、次に再利用・再生利用	3Rの推進	ごみの減量と資源化の推進	むだをなくし、ごみをできるだけ出さない暮らしの確立(2Rの推進)
	2	パートナーシップによる取り組みの強化	燃やすごみ減量を推進	環境に配慮したごみの適正処理	効率的で適正な処理に向けた排出・分別ルール徹底
	3	ごみの安全・安心な適正処理	適正処理の確保	市民・事業者・行政との協働体制の確立	若者から高齢者まで幅広い市民や全ての事業者にいきわたる情報発信と行動の展開
4	—	災害時対策の推進	—	—	
目標値	市ごみ処理量(排出量)	97,025t(H26)⇒80,000t(R7) [△17.5%]	—	90,679t(H23)⇒71,553t(R4) [△21.1%]	—
	家庭系燃やせるごみ 1人1日当たり ごみ排出量	510.2g(H26)⇒425.0g(R7) [△16.7%]	432.6g(H27)⇒411.0g(R9) [△5%]	555g(H23)⇒486g(R4) [△12.4%] ※資源物・集団回収除く	500g(H25)⇒450g(R7) [△10%] ※資源物除く
	事業系市ごみ処理量 (排出量)	35,041t(H26)⇒30,000t(R7) [△14.4%]	—	35,773t(H23)⇒24,446t(R4) [△31.7%] ※資源物除く	195,400t(H25)⇒175,400t(R7) [△10%]
	最終処分量	16,392t(H26)⇒10,000t(R7) [△39.0%]	—	—	86,900t(H25)⇒68,400t(R7) [△21%]
	リサイクル率等	12.6%(H26)⇒19.2%(R7) [6.6ポイント増加]	—	11.7%(H23)⇒27.0%(R4) [15.3ポイント増加]	24%(H25)⇒27%(R7) [3ポイント増加]

項目	大阪府 大阪市	兵庫県 姫路市	兵庫県 西宮市	兵庫県 尼崎市	
都市の指定	政令指定都市		中核市		
都市の区分		近隣市			
総人口(R1、外国人含む)	2,727,458人	530,363人	486,799人	463,230人	
1人1日当たりのごみ排出量(R1)	1,034g	961g	950g	904g	
生活系	454g	646g	598g	601g	
事業系	580g	315g	352g	303g	
リサイクル率R'(R)	9.7%	15.0%(15.1%)	12.6%(13.5%)	12.5%(12.6%)	
策定年月	令和2(2020)年3月	平成30(2018)3月	平成31(2019)3月	令和3(2021)年3月	
計画目標年度	令和7(2025)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度	令和12(2030)年度	
中間目標年度	—	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度	
基本理念	(1)3Rの推進 (2)多様な主体の参画・連携 (3)適正処理の推進 (4)環境への配慮 (5)ごみ処理事業の一層の効率化と安全かつ安定したごみ処理体制の確保	・3Rが浸透したライフスタイルを実践する市民と ・環境配慮型ビジネススタイルを確立した事業者と ・循環型社会の実現に向けた基盤づくりに努める行政がそれぞれの役割を果たしつつ、3者が協力し合って、環境にやさしく(Ecological)快適で(Comfortable)姫路らしい(Original)まちづくりに取り組み、未来に誇れるECOな都市(まち)を目指す。	ごみを減らし、資源を有効活用するまちへ	みんなで広げる「もったいない!あまがさき」	
基本方針	1	2Rを優先した取組の推進	環境問題を意識し、循環型社会にふさわしい暮らしが定着する都市(まち)	ごみを発生させない社会の確立	視点①ごみになるのにもったいない! 【リデュースによるごみの減量】
	2	分別・リサイクルの推進	環境負荷低減に配慮した企業活動を行う都市(まち)	分別の徹底とリサイクルの推進	視点②コストをかけるのもったいない! 【経済性と効率性】
	3	環境に配慮した適正処理と効率的な事業の推進	適正かつ高度でありながらも市民生活と調和したごみ処理システムを備えた都市(まち)	適正で効率的なごみ処理体制の構築	視点③環境のためだけではもったいない! 【経済・社会・環境の統合的向上】
	4	—	住む人・訪れる人にとって気持ちの良い清潔な都市(まち)	—	視点④みんなでやらないもったいない! 【市民・事業者・行政による協働】
目標値	市ごみ処理量(排出量)	93.4万t(H30)⇒83.7万t(R7) [△10.4%]	—	—	134,041t(R1)⇒119,501t(R12) [△11%] ※焼却対象ごみ量
	家庭系燃やせるごみ 1人1日当たりのごみ排出量	—	502.4g(H28)⇒458.7g(R9) [△8.7%] ※資源物及び集団回収除く	510g(H28)⇒459g(R10) [△10%] ※集団回収、資源A・B、小型家電BOX回収を除く	457g(R1)⇒410g(R12) [△10%]
	事業系市ごみ処理量 (排出量)	57.1万t(H30)⇒51.5万t(R7) [△9.8%]	—	177t/日(H28)⇒141t/日(R10) [△20.0%]	51,133t(R1)⇒46,020t(R12) [△10%]
	最終処分量	14万t(H30)⇒13万t(R7) [△7.1%]	—	22,784t(H28)⇒18,110t(R10) [△20.5%]	—
	リサイクル率等	—	16.1%(H28)⇒17.2%(R9) [1.1ポイント増加]	14.5%(H28)⇒22.0%(R10) [7.5ポイント増加]	—